

「medicina」 第26巻 総目次

1989年 第1号～第13号

数字は通巻頁数、()は号数、10号は増刊号です。

〔今月の主題〕

新しい不整脈診療(1)

不整脈に関する新しい概念が日常診療にどの程度役に立っているか (editorial) 比江嶋一昌	6
〈新しい用語の解説と臨床例〉 entrainment—リエントリーの1所見 奥村 謙	8
gap phenomenon—“過常伝導”との関係 相沢 義房・他	11
excitable gap—心房粗動の考え方 井上 博	15
late potential—high risk の証明？ 加藤 貴雄・他	18
long RP' tachycardia—上室性頻拍の新しい概念 鈴木 文男	22
regular, wide QRS tachycardia— 一心室性？ 上室性？ 伊藤 明一・他	25
torsade de pointes—突然死の原因？ 田嶋 経躬	28
endless loop tachycardia—ベース メーカーの合併症 小倉 俊介・他	31
〈不整脈誘発源となる特殊な背景〉 arrhythmic right ventricular dysplasia (ARVD) 松原 哲	34
QT 延長症候群 渡辺 一郎・他	38
特発性心筋症 大西 哲	41
僧帽弁逸脱症 坂東 重信	46
特発性心室頻拍 臼田 和生・他	48
抗不整脈剤 内藤 政人	52
〈不整脈の新しい診断法〉 ホルター心電図法 小林 明	54
運動負荷法 林 博史・他	56
電気生理学的検査法 谷川 宗生・他	58
経食道心房ペーシング法 平尾 見三・他	66
体表面電位図法 鎌倉 史郎	70
〈不整脈の新しい治療法〉 新しい抗不整脈剤 新 博次	74
上室性頻脈性不整脈の薬物療法 小松 親義・他	78
心室性頻脈性不整脈の薬物療法 傅 隆泰	82
抗頻拍ベースメーカー 笠貫 宏・他	86
カテーテルアブレーションと植え込み 型自動除細動器 磯部 文隆	90
外科的療法 三崎 拓郎・他	94

〈不整脈をめぐる controversies〉

発生機序としての reentry と trigger- ed activity 今西 愿	98
クラス I 薬の分類 児玉 逸雄	104
心室性期外収縮に対する治療の是非 桜井 正之	108
突然死を予知するうえでのホルター 心電図の役割 田辺 晃久	112
突然死を予知するうえでの電気生理学 的検査の役割 相原 直彦・他	116
〈座談会〉 不整脈診療の実際 飯沼 宏之・小川 聡	121
三崎 拓郎・比江嶋一昌	121
今月の主題・理解のための10題 比江嶋一昌	134

内科医のための

癌治療のオリエンテーション(2)

〈癌発生と転移のメカニズム〉 オンコジーンと発癌 丹羽 太貫	190
優性遺伝をする癌 高井新一郎	192
癌と染色体異常 小峰 光博	196
癌の転移—血小板の役割 村田 満・他	198
癌に対する監視機構—T-cell などの 役割 森 庸厚	200
癌の発育と成長曲線—成長過程の どこで診断可能か 北原 光夫	204
〈癌治療のためのオリエンテーション〉 外科的治療の概念 尾形 佳郎	206
放射線治療の概念 村上 優子	209
抗癌剤治療の概念 小川 一誠・他	212
抗癌剤の分類の作用機序 井上 雄弘・他	214
治療前に知っておくべき癌患者の 状態 北原光夫	220
抗癌剤の補助療法の適応 中田 安成	223
腫瘍マーカーの使い方 杉野 成・他	226
ホルモン療法の実際 安達 勇	229
免疫療法は有効なのか 近藤 誠	232
〈固形癌の治療〉 胸部食道癌 掛川 暉夫・他	235
大腸癌 北條 慶一	238
肺癌(小細胞癌, 非小細胞癌) 阿部 庄作	242
肝癌 野口 孝・他	246
睾丸腫瘍 吉田 修	250
前立腺癌 島崎 淳	253

Multiple endocrine neoplasia syn- drome—診断と治療 小原 孝男	256
乳 癌 泉雄 勝・他	262

〈癌合併症とその対策〉

パラネオプラスティック症候群 中井 義勝	266
癌性胸膜炎, 癌性心嚢炎, 癌性 腹膜炎 西尾 剛毅	271
高カルシウム血症 佐藤 幹二	276
上・下大静脈症候群 宮原 透	278
脊髄圧迫症候群 星野 晴彦	280
抗癌剤の副作用とその対策 伊藤 良則・他	282
〈末期癌患者のケア〉 痛みのコントロール 水口 公信	288
栄養補給 小越 章平	292
〈鼎 談〉 癌患者のケア 千原 明・江口 研二	294
北原 光夫	294
今月の主題・理解のための10題 北原光夫	304

高脂血症と動脈硬化(3)

動脈硬化の成因における高脂血症 の役割 大内 尉義	374
〈高脂血症と動脈硬化の基礎〉 血漿リポ蛋白質とその代謝 松島 昭彦・他	377
高脂血症の分子生物学 松本 明世・他	382
脂質代謝と血小板, 凝固線溶系 横内 正利	384
薬剤による脂質代謝の障害 今鷹 耕二	388
動脈硬化の発症機序 大谷 秀夫・他	390
動脈硬化の臓器特異性 上田 清悟・他	394
動脈硬化の退縮 金 秀樹・他	398
〈高脂血症の診断〉 高脂血症の分類と臨床的特徴 後藤田貴也・他	402
二次性高脂血症 竹村 芳・他	406
高脂血症—診断の手順とデータの読み方 白井 厚治・他	410
小児の高脂血症 村田 光範	416
老年者の高脂血症 内藤 通孝・他	419
〈動脈硬化の診断〉 身体所見, 単純X線写真, 眼底所見 石川 雄一・他	422

血管造影・Digital Subtraction Angiography	石村 孝夫	426	血友病, von Willebrand 病の輸血	滝 正志	602	眼底所見の診かたと記載法	土坂 寿行・他	778
血管内視鏡—冠動脈を中心に	水野 杏一・他	430	Plasmapheresis の適応	飯野 靖彦	606	結膜炎	林 清文	784
蛍光スペクトルによる診断	奥仲 哲弥・他	434	手術時の輸血のガイドライン	湯浅 晋治	608	緑内障	大野 新治	786
〈高脂血症の治療〉			〈副作用・合併症の対策〉			白内障	清水 公也	788
治療総論—生活指導, 食事療法, 薬物療法の開始, 選択基準	秦 葭哉	436	よくみられる副作用と合併症	池田 康夫・他	613	麦粒腫と霰粒腫	井上 洋一	790
食事療法と生活指導	板倉 弘重・他	442	ウイルス感染と輸血—HTLV-1, HIV, CMV	根岸 昌功	618	〈耳鼻咽喉科〉		
高脂血症薬の実践的な使い方	石橋 俊	444	肝炎と輸血	則岡美保子・他	622	内科医にできる耳鼻科的診察・治療法	野末 道彦	792
LDL アフェレーシス—適応と治療効果	横山 信治	448	GVHD と輸血	品田 章二	626	咽頭炎・喉頭炎	進 武幹	794
〈動脈硬化性疾患の治療〉			〈輸血のトピックス〉			咽喉頭異常感症	織田 正道	796
一過性脳虚血発作	飯島 節・他	452	自己血輸血	原 宏・他	628	鼻アレルギー	向高 洋幸・他	798
閉塞性動脈硬化症	多田 祐輔	454	腎移植と輸血	山本 実	630	中耳炎・中耳カタル	小名 愛	800
腸管アンギーナ・虚血性腸炎	許 俊鋭・他	458	人工血液	関口 定美・他	634	めまいの鑑別診断	渡邊 宏	804
腎動脈硬化症	山門 実	462	エリスロポエチン	八木田旭邦	636	耳鳴り	森川 郁郎	806
〈座談会〉			今月の主題・理解のための問題	小松 文夫	638	頭頸部の腫瘍	折田 洋造	808
高脂血症と動脈硬化	斎藤 康・堀内 正公		内科医のための			鼻出血	猪 忠彦	810
	山田 信博・大内 尉義	465	他科疾患プライマリ・ケア(5)			副鼻腔炎	大石 公直	812
今月の主題・理解のための10題	大内 尉義	478	Editorial/プライマリ・ケアとは	福井 次矢	722	〈小児科〉		
			プライマリ・ケアの実際—特にコンサルテーションを中心として	福原 俊一・他	724	発 熱	宮崎 澄雄	816
輸血の実際と血液製剤(4)			〈精神科〉			腹 痛	大塚 親哉	818
わが国における輸血の現状と問題点	小松 文夫	550	精神科プライマリ・ケアのオリエンテーション	前田 久雄	726	嘔吐, 下痢	大塚 親哉	820
輸血(赤血球輸血)に際しての基本的ルール(輸血の生理/赤血球輸血の指標/赤血球輸血製剤の使い分け)	雨宮 洋一	552	行動医学的アプローチと Brief psychotherapy—短い精神療法	篠田 知璋	728	発 疹	武内 可尚	822
〈血液製剤の入手と管理〉			いわゆる不定愁訴	前田 久雄	732	小児の常用薬用量	武内 可尚	826
血液製剤の入手法	浅井 隆善	560	うつ病, うつ状態	前田 久雄	734	〈産婦人科〉		
血液製剤の保存と管理	広瀬 豊	562	不安・神経症	武市 昌士	736	子宮筋腫	鈴木 秋悦・他	830
〈血液製剤の特徴と適応〉			不 眠	新福 尚武	738	子宮頸癌	安田 允・他	832
全血輸血と成分輸血	上平 憲	564	器質精神病	武市 昌士	740	不正性器出血の鑑別診断		
赤血球製剤	倉田 義之	566	精神分裂病	長谷川朝穂・他	742	骨盤内感染症	国本 恵吉	835
血小板製剤	寮 隆吉・他	570	自 殺	岩崎 康孝・他	744	子宮外妊娠, 卵巣嚢腫茎捻転	淵 勲	838
新鮮凍結血漿とアルブミン	田村 眞	572	せん妄・健忘症候群	岩崎 徹也	746	関 賢一・他	840	
免疫グロブリン製剤	大戸 齊	578	〈皮膚科〉			陰炎—トリコモナス, カンジダ	武田 秀雄	844
凝固因子製剤	朝倉 英策	582	皮膚科プライマリ・ケアのオリエンテーション	幸田 弘	748	妊娠と高血圧, 妊娠中毒症	北井 啓勝・他	846
〈内科医のための輸血の実際〉			発疹の記載法と鑑別診断	山崎雄一郎	750	更年期障害	本多 洋	848
緊急輸血	大塚 節子	584	外用薬の用い方	渡辺 匡子	756	妊娠時に注意を要する薬物	柳沼 忒	850
慢性貧血の輸血	山口 潜	589	湿疹・皮膚炎	田中 勝	760	月経異常	伊藤 博之	853
自己免疫性溶血性貧血の輸血	中山 志郎	594	薬疹・水疱症	大坪 東彦	762	〈整形外科〉		
急性白血病, リンパ腫の輸血	森 真由美	596	皮膚感染症	田中 勝	764	腰痛の鑑別診断	土方 貞久	856
特発性血小板減少性紫斑病(ITP)の輸血	森 孝夫	598	皮膚腫瘍, 母斑	山崎雄一郎	767	変形性関節症—頸椎症と膝関節症	岡元 勉・他	860
播種性血管内凝固症候群(DIC)の輸血	西川 健一	600	瘡 痒	三砂 範幸	770	胸郭出口症候群	今釜 哲男	862
			脱 毛	井上かがね	772	肘管症候群, 手根管症候群, 外側大腿皮神経症候群	堀内 行雄	866
			〈眼 科〉			骨粗鬆症—大腿骨頭部骨折と脊椎圧迫骨折	紫藤 徹郎	868
			眼科プライマリ・ケアのオリエンテーション	麻薙 薫	774	転移性骨腫瘍	高田 典彦	872
			内科医にできる眼科診療・治療法	松元 俊	776	〈その他〉		
						乳房腫瘍の鑑別診断	内田 賢・他	876
						鼠径ヘルニア	藤田 哲二・他	878
						痔	穴沢 貞夫・他	880
						口内炎と舌癌	赤坂 庸子	882
						尿路結石症	中西正一郎・他	884
						前立腺肥大と前立腺癌	仁藤 博	886

糖尿病マネージメント Update (6)

糖尿病学の現況と展望

坂本 信夫 898

〈糖尿病の病態・成因〉

新しい WHO の糖尿病分類と問題点

金澤 康德 900

IDDM と NIDDM の新しい概念

花房 俊昭 902

IDDM と NIDDM の病態と特徴

星 充 904

〈糖尿病の診断・検査〉

診断に必要な検査と判定

山内 俊一・他 906

二次性糖尿病を見落とさないために

清野 裕 912

IGT とその取り扱い 伊藤千賀子 916

外来管理における経過観察に必要な

検査と頻度 武田 倬 918

入院管理における経過観察一日内血糖

変動, 尿糖の意義 春日 雅人 922

尿検査からえられる情報一最低

必要限のチェック 島 健二 924

血糖自己測定の適応と限界

池田 義雄 928

ヘモグロビン A_{1c} とフルクトサミン

を日常診療にいか活用すべきか

中山 秀隆・他 930

インスリン, C-ペプチドを日常診療に

いかに活用すべきか

前川 聡・他 934

〈糖尿病治療の実践〉

糖尿病治療の進め方と日常生活の

指導のあり方 岩本 安彦・他 936

食事療法一食品交換表の効果的な活用

と問題点 土井 邦紘 942

運動療法一効果的なあり方と禁忌

佐藤 祐造 950

経口血糖降下剤療法

一フルフォニル尿素剤

兼子 俊男 952

一ピクアナイド剤 原納 優 954

一新しい経口血糖降下剤の展望

河津 捷二 958

インスリン療法

一効果的なインスリン治療のあり方

河盛 隆造 962

一強化インスリン療法

七里 元亮・他 966

一新しいインスリン治療

野中 共平 968

一スルフォニル尿素剤とインスリン

の併用療法 加来 浩平 970

〈糖尿病性合併症の管理・治療〉

糖尿病性昏睡(高血糖)一外来管理

から入院管理“Do & Do not”

堀田 饒 972

低血糖昏睡一外来管理から入院管理

“Do & Do not” 日高 秀樹・他 976

感染症一対応と留意すべき点

豊田 隆謙・他 978

妊娠・分娩時, 手術時における

緊急対応 大森 安恵・他 982

糖尿病性神経障害一頑固な痛み,

下痢はどう対処すべきか

鈴木 吉彦・他 986

糖尿病性網膜症一前増殖性網膜症,

増殖性網膜症の患者をいかに follow

up するか 菊地 方利 988

糖尿病性腎症一透析導入患者管理のあり

方と留意すべき点

戸川 雅樹・他 992

糖尿病性壊疽一重篤化を防ぐには

坂本 美一・他 994

〈座談会〉

糖尿病治療の現況と展望

豊田 隆謙・松岡 健平

春日 雅人・堀田 饒 997

今月の主題・理解のための 10 題

堀田 饒 1008

内科エマージェンシー (7)

〈救急基本手技〉

救急蘇生法 新野 博次・他 1076

除細動 水野 杏一・他 1082

循環動態のモニタリング

一色 高明・他 1084

〈緊急検査データの読み方と対応〉

末梢血検査 北原 光夫 1088

血液ガス 梶山 幸彦 1090

電解質 渥美 義仁 1092

BUN, クレアチニン 家口 慶彦 1094

肝機能検査 神山 敏 1096

凝固系検査 渡辺健太郎 1098

グラム染色 北原 光夫 1101

髄液検査 竹内 郁夫・他 1102

付)簡単にできる緊急検査

河野 均也 1105

〈症状からみた内科エマージェンシー〉

ショック 中村 正人 1106

意識障害

一昏 睡 畑 隆志 1110

一せん妄 重松 一夫・他 1116

一過性の意識消失

三田村秀雄 1119

激しい頭痛 黒沢 崇四 1122

痙 攣 亀井 徹正 1124

回転性めまい 日野 英忠 1126

急速な四肢麻痺 北野 邦孝 1128

胸・背部痛 石村 孝夫 1130

呼吸困難 蝶名林直彦 1136

喀 血 宮城征四郎 1142

吐血, 下血 椎名 泰文・他 1145

急性腹痛 門田 俊夫 1148

急性下痢 荒川 正一 1152

黄 疸 住野 泰清 1154

乏尿, 無尿 小西孝之助 1158

出血傾向 朝倉 英策 1160

発 熱 根岸 昌功 1164

好中球減少時の発熱 青木 泰子 1166

全身性発疹 高野 慎 1168

〈疾患からみた内科エマージェンシー〉

神経疾患

一過性脳虚血発作(TIA)

峰松 一夫 1170

脳梗塞と脳出血 高木 誠 1172

くも膜下出血 早川 功 1176

髄膜炎 大生 定義 1178

脳 炎 山崎 正博 1180

循環器疾患

不安定狭心症 相澤 忠範 1182

急性心筋梗塞 中西 成元・他 1184

不整脈 林田 憲明・他 1188

急性心不全 諸岡 成徳 1194

心タンポナーデ 松崎 益徳 1197

解離性大動脈瘤 出川 敏行 1200

呼吸器疾患

急性呼吸不全 宮城征四郎 1202

気管支喘息 江頭 洋祐・他 1206

肝塞栓 中島 明雄・他 1208

肺 炎 桜井 滋 1211

気 胸 伊礼千紀夫 1214

消化器疾患

上部消化管出血 横山 靖・他 1216

下部消化管出血 光島 徹 1218

胃・十二指腸潰瘍

佐島 敬清・他 1220

急性腹膜炎 上野 文昭 1224

腸閉塞, イレウス 雨宮 厚 1226

消化管異物 六倉 俊哉 1228

急性肝不全 与芝 真・他 1229

急性胆管炎 広岡 大司・他 1234

急性肺炎 杉山 恵一・他 1236

腎疾患・電解質異常

急性腎不全 白井 大禄 1238

脱水症 和田 孝雄 1241

低ナトリウム血症 和田 孝雄 1242

高カリウム血症 和田 孝雄 1243

内分泌・代謝疾患

甲状腺クリーゼと粘液水腫昏睡

鷹 在徳・他 1244

糖尿病における昏睡 久保 明 1246

痛風発作 加賀美年秀 1249

その他の疾患

敗血症 那須 勝・他 1250

急速に進行する貧血 溝口 秀昭 1252

播種性血管内凝固症候群(DIC)

渡辺 清明 1254

悪性腫瘍におけるエマージェンシー

一脊髄圧迫症候群 北川 泰久 1256

一上大静脈症候群

森田 正重・他 1258

一高カルシウム血症

高槻 健介 1262

辟・胆道疾患の臨床 (8)

〈辟・胆道疾患診療の基本〉

辟・胆道疾患の身体的所見のとり方

辻井 正・他 1272

辟脱酸素阻害剤の種類, 特性

および使用法 中野 哲 1276

血清・尿中酵素値の読み方
竹内 正・他 1280

肝癌・胆道癌の診断における腫瘍
マーカーの役割と false positive
澤武 紀雄 1284

〈注意すべき検査・処置の適応と偶発症〉
内視鏡的脾・胆管造影の適応と
偶発症 大井 至 1288

内視鏡的胆道ドレナージ術(EBD)
の適応, 管理と偶発症
小野美貴子 1292

経皮的胆管ドレナージ(PTCD)の
適応, 管理と偶発症
高田 忠敬・他 1294

〈脾疾患診療のポイント・アドバイス〉
急性脾炎の診断と治療
江口 忠・他 1298

重症脾炎の診断と治療
山本 正博・他 1302

薬剤による脾炎, アルコールによる
脾炎 建部 高明・他 1306

慢性脾炎の診断 原田 英雄・他 1308

慢性脾炎と腹痛—心身医学の立場から
陶山匡一郎・他 1312

慢性脾炎の薬物および食事療法
奥野 府夫・他 1317

脾石症 細田 四郎・他 1320

脾仮性嚢胞, 真性嚢胞, 嚢胞腺癌
富士 匡・他 1322

粘液産生脾腫瘍 高木 國夫 1326

脾臓診療の問題点 吉森 正喜 1329

〈胆道疾患診療のポイント・アドバイス〉
急性胆管炎の治療
谷村 弘・他 1332

急性化膿性胆管炎の診断と治療
伊藤 慎芳・他 1336

胆石溶解療法—その適応と限界
松崎 靖司・他 1338

体外衝撃波による胆石治療の現状と
将来 菅田 文夫・他 1342

胆石の内視鏡的結石摘出術
山川 達郎・他 1344

肝硬変と胆石 太田 康幸・他 1346

胃切除と胆石 渡部 洋三 1350

糖尿病と胆石 豊田 隆謙・他 1352

先天性胆道拡張症・脾管胆道
合流異常 古味 信彦 1354

胆嚢隆起性病変の診断と治療方針
土屋 幸治 1358

胆道癌診療の問題点
小菅 智男・他 1360

〈座談会〉
脾・胆道疾患の画像診断
竹原 靖明・有山 襄
板井 悠二・多賀須幸男 1362

今月の主題・理解のための10題
伊藤 慎芳 1372

循環器薬の使い方(9)

循環器薬と randomized trial
山口 徹 1438

〈心不全〉
心不全治療の基本 木全 心一 1440
心不全治療薬の選択 村松 準 1442
ジギタリスの使い方 田村 勤 1444
カテコラミンの使い方
南堂 公平・他 1446
利尿薬の使い方 山本 良高 1448
血管拡張薬の使い方
大谷 余志・他 1452

〈狭心症〉
狭心症治療の基本 延吉 正清 1454
抗狭心症薬の選択
丸山 隆久・他 1458
亜硝酸薬の使い方 光藤 和明 1460
Ca 拮抗薬の使い方 相澤 忠範 1466
β ブロッカーの使い方
岸田 浩 1471

〈急性心筋梗塞〉
急性心筋梗塞治療の基本
南野 隆三・他 1474
急性心筋梗塞治療薬の選択
佐藤 光・他 1477
血栓溶解薬の使い方 石川 欽司 1480
強心薬の使い方 出川 敏行 1484
抗不整脈薬の使い方 笠貫 宏 1487

〈虚血性心疾患〉
抗血小板薬の使い方 小林 紀夫 1492
抗凝固薬の使い方 青木 功 1494
抗高脂血症薬の使い方
寺本 民生 1498

〈不整脈〉
不整脈治療の基本 比江嶋一昌 1500
不整脈治療薬の選択 飯沼 宏之 1503
クラス IA 抗不整脈薬の使い方
小川 聡・他 1506
クラス IB 抗不整脈薬の使い方
神谷香一郎・他 1510
β ブロッカーの使い方
小沢友紀雄 1512

Ca 拮抗薬の使い方
宮川 明彦・他 1514
抗徐脈性不整脈薬の使い方
山口 巖・他 1518

〈高血圧〉
高血圧治療の基本 藤井 潤 1522
高血圧治療薬の選択 関 顕 1524
利尿薬の使い方 下沢 達雄・他 1526
β ブロッカーの使い方
小嶋 俊一 1528
α ブロッカーの使い方
西尾 一郎 1532
Ca 拮抗薬の使い方 栃久保 修 1534
ACE 阻害薬の使い方
山門 実 1538
肺高血圧治療薬の使い方
半田俊之介・他 1542

〈低血圧〉
低血圧治療薬の使い方
中島 克彦 1544

〈心筋症〉
肥大型心筋症治療薬の使い方
梶山 公則・他 1546
拡張型心筋症治療薬の使い方
花田 尚志・他 1548

〈動脈疾患〉
大動脈炎症候群治療薬の使い方
野中 泰延 1550
大動脈瘤治療薬の使い方
鈴木 紳 1552
末梢動脈疾患治療薬の使い方
沼野 藤夫 1554

循環器薬の使い方—minimum
requirement 山口 徹 1558

〈座談会〉
循環器薬の使い方
村松 準・土師 一夫
飯沼 宏之・山口 徹 1561

水・電解質と酸塩基平衡(11)

〈Editorial〉水・電解質と酸塩基平衡
黒川 清 2128

〈水・電解質代謝の理解のために〉
Na 代謝調節系
—尿管管レベル 吉富 宏治 2130
—腎血行動態 相澤 力 2134
—ホルモン 丸茂 文昭・他 2138

K 代謝調節系—尿管管レベルと
ホルモン 田部井 薫 2140

水代謝調節系 石川 三衛 2142

〈水・電解質異常の病態生理〉
高 Na 血症 清水 倉一 2144
低 Na 血症 東 徹 2148
高 K 血症 川口 良人 2150
低 K 血症 海津 嘉蔵 2152

〈水・電解質異常のベッドサイド
アプローチ〉
電解質の読み方 和田 孝雄 2154
治療の進め方 二瓶 宏 2158
高 Na 血症と低 Na 血症
石田 尚志・他 2162
高 K⁺ 血症と低 K⁺ 血症
木村次次郎・他 2166
浮腫 荒川 正昭・他 2172
脱水 平方 秀樹・他 2176
多尿 深川 雅史 2178

〈酸塩基平衡の理解のために〉
酸塩基平衡の基本的概念
越川 昭三 2182

腎での調節
—近位尿管 佐々木 成 2186
—遠位尿管 古谷 隆一・他 2190

肺での調節 中山 真人 2194

〈酸塩基平衡の病態生理〉
血液ガス値の読み方 内田 俊也 2196
代謝性アシドーシス
上桒 次郎・他 2200

代謝性アルカローシス	吉川 隆一・他 2202
呼吸性アシドーシスと呼吸性アルカ ローシス	平野 圭・他 2206
腎尿細管性アシドーシス	杉野 信博・他 2208
〈水・電解質異常に関する疾患〉	
SIADH	伊藤 公道・他 2212
内分泌疾患と電解質異常	阿部 圭志 2214
気がつきにくい電解質異常	高野 朋子・他 2218
〈最近の話題〉	
腎尿細管性アシドーシス type IV	福原 吉典・他 2222
悪性腫瘍に伴う高カリウム血症	要 伸也・他 2226
薬剤と電解質異常	武田佳代子・他 2230
〈座談会〉	
水・電解質代謝の調節系	清水 倉一・内田 俊也 吉富 宏治・黒川 清 2233
今月の主題・理解のための 10 題	内田 俊也 2248

凝固・線溶系の臨床 1989(12)

Editorial: 凝固・線溶系の臨床的意義	斎藤 英彦 2308
〈トピックス〉	
止血異常の分子生物学—先天性 α_2	PI 欠損症 青木 延雄 2310
凝固因子の分子生物学—血友病	三上 貞昭 2313
血小板由来成長因子 (PDGF)	藤村 欣吾・他 2317
エンドセリン	井上 明宏・他 2320
凝固亢進状態の診断	中川 雅夫・他 2322
細胞内の抗凝固蛋白質—カルシウム イオン依存性の酸性リン脂質結合 蛋白質	藤川 和雄 2326
トロンボモジュリン	丸山 征郎 2328
〈出血性疾患の病態と診断〉	
先天性血小板機能異常症	安永幸二郎・他 2330
特発性血小板減少性紫斑病	塚田 理康 2336
von Willebrand 病	藤村 吉博 2342
ビタミン K 欠乏症	白幡 聡 2346
DIC の新しい診断基準	小林 紀夫 2349
血管性紫斑病	櫻川 信男 2352
〈血栓性疾患の病態と診断〉	
血栓性血小板減少性紫斑病 (TTP)	伊藤 和彦 2356
先天性血栓傾向	高松 純樹・他 2358
深部静脈血栓症	今岡 真義 2361
肺血栓症	長谷川 淳 2364

ループスアンチコアグラント	川野 晃一・他 2366
〈全身性疾患と凝固・線溶系〉	
糖尿病—糖尿病における止血因子 とその変動	服部 晃・他 2369
高脂血症	出口 克巳・他 2372
腎疾患	三室 淳・他 2374
肝疾患	荻家 利承・他 2376
白血病	杉浦 勇 2380
妊娠・分娩	寺尾 俊彦・他 2382
〈治療—最近の動向〉	
難治性特発性血小板減少性紫斑病 の治療	野村 武夫 2386
血友病治療の進歩	福武 勝幸・他 2388
DIC の治療	松田 保 2390
濃厚血小板製剤の適応	高橋 孝喜・他 2392
TIA の治療	田村 乾一・他 2396
急性心筋梗塞の血栓溶解療法	木全 心一 2399
〈座談会〉	
経口抗凝固療法の実際	木下 忠俊・青崎 正彦 山之内 博・斎藤 英彦 2402
今月の主題・理解のための 10 題	杉浦 勇 2414

痛みの診断とその対策 (13)

痛みのメカニズム	花岡 一雄 2478
〈痛みの診断〉	
診断の進め方	檀 健二郎 2482
頭部の痛み	谷川 達也 2486
顔面の痛み	並木 昭義・他 2490
頸部の痛み	立石 昭夫 2494
胸部の痛み	中村 文隆・他 2498
腹部の痛み	渡邊 千之・他 2502
腰・背部の痛み	田中 弘美 2506
手足の痛み	三島 好雄 2510
不定愁訴としての痛み	松波 聖治・他 2512
〈痛みの対策〉	
鎮痛薬の使い方	水島 裕 2514
抗炎症・解熱鎮痛薬	橋本 博史 2518
拮抗性鎮痛薬	井手 康雄 2522
麻薬性鎮痛薬	田上 恵 2526
鎮痛補助薬	弓削 孟文 2530
血管拡張薬療法	長瀬 真幸 2532
皮膚吸収性鎮痛薬	平石 禎子・他 2534
坐 薬	菅原 幸子 2536
ターゲッティング療法薬	柳川 明・他 2538
神経ブロック療法	宮崎 東洋 2540
外科療法	福島 孝徳 2544
刺激鎮痛法	東藤 義公・他 2548
物理療法	石田 肇 2550
東洋医学療法	北出 利勝・他 2554
〈末期癌の痛みの対策〉	
癌患者の疼痛	平賀 一陽 2557

薬物療法

—ブロンプトンカクテル (塩酸 モルヒネカクテル) 形浦 昭克 2564	
—鎮痛薬の持続皮下注法 (CSAA)	山本 健・他 2568
—癌患者の痛みのオピオイド鎮痛薬 による治療	武田 文和 2570
心理療法	水口 公信・他 2574
放射線療法	青木 幸昌・他 2576
ホスピス・ケア	千原 明 2578
〈心の痛み〉	
心の痛みとは	村山 良介 2580
精神医学療法	森 温理 2582
バイオフィードバック療法	緒方 洋一・他 2584
〈最近のトピックス〉	
PCA (Patient-Controlled Anal- gesia)	小川 節郎 2586
〈座談会〉	
癌性疼痛と不定愁訴をめぐって	田上 恵・平石 禎子 末松 弘行・花岡 一雄 2589
今月の主題・理解のための 10 題	花岡 一雄 2600

〔カラーグラフ〕

冠動脈造影所見と組織像の対比／

堀江 俊伸	
1. 冠動脈造影所見と模式図/ 加齢に伴う冠動脈病変	138 (1)
2. 冠動脈造影上の狭窄形態/ 労作性狭心症	310 (2)
3. 不安定狭心症	482 (3)
4. 梗塞前の狭心症と心筋梗塞	642 (4)
5. 経皮的冠動脈修復術 (PTCA)	1014 (6)
6. PTCA 施行後にみられる 形態学的変化	1376 (8)
7. PTCA における合併症 (1)	1574 (9)
8. PTCA における合併症 (2)	2252 (11)
9. PTCA 後の再狭窄	2420 (12)
10. 急性心筋梗塞 (冠動脈完全閉塞例)	2606 (13)

非観血的検査法による循環器疾患 の総合診断

特徴的な心雑音が診断のきっかけ となった冠動脈瘤の 1 例	福田 信夫・他 322 (2)
巨大左房内に流動エコーを認めた 連合弁膜症の 1 例	大木 崇・他 494 (3)
突然に心雑音が出現した Valsalva 洞動脈瘤破裂の 1 例	福田 信夫・他 654 (4)
左右両室拡張型心筋症と考えられた 1 例	大木 崇・他 1026 (6)

Sail sound と特異な三尖弁逆流を
認めたエプスタイン奇形の1例
福田 信夫・他 1386(8)
典型的な心病変を呈した全身性エリ
テマトーデス(SLE)の1例
大木 崇・他 2270(1)
右室流入路狭窄と拘束型血行動態
を示した重症漏斗胸の1例
福田 信夫・他 2436(12)
非脱出性右房粘液腫の1例
大木 崇・他 2626(13)

Oncology Round／片山 勲・他
1. 橋本病に併発した甲状腺
乳頭癌 1585(9)
2. Sipple 症候群 2263(11)
3. 甲状腺原発悪性リンパ腫 2431(12)
4. 慢性リンパ性白血病との鑑別
が問題となった悪性リンパ腫
の1例 2619(13)

〔グラフ〕
消化管造影 基本テクニックと
Pitfall／松川 正明・西澤 護
小腸(5)―腫瘍 152(1)
大腸(1)―検査の前処置と検査法の
コツ 504(3)
大腸(2)―変形、壁異常をどう読むか
664(4)
大腸(3)―潰瘍性大腸炎とその周辺
1036(6)
大腸(4)―クローン病 1394(8)
大腸(5)―腸結核、虚血性大腸炎
1590(9)
大腸(6)―進行癌 2280(11)
大腸(7)―早期癌 2444(12)
大腸(8)―癌と鑑別すべき良性疾患
2636(13)

〔演習〕
目でみるトレーニング
牧瀬 洋一・他 142(1)
牧瀬 洋一・他 314(2)
大友 弘士・他 486(3)
棟方 昭博・他 646(4)
棟方 昭博・他 1018(6)
来生 哲・他 1380(8)
栗田 正・他 1578(9)
近藤 啓文・他 2256(11)

安藤 正幸・他 2424(12)
向井 秀樹・他 2610(13)

心電図演習

白鳥 健一 515(3)
梅澤 剛・他 673(4)
柳下 芳樹・他 1401(8)
梅澤 剛・他 1611(9)
岩瀬 孝・他 2459(12)

実践診療 EXERCISE

岡田 定・他 1059(6)
高木 誠・他 1405(8)
岡田 定・他 2289(11)
司城 博志・他 2463(12)

〔講座〕

図解病態のしくみ／循環器疾患

11. リウマチ性僧帽弁膜症
石光 敏行 162(1)
12. 非リウマチ性僧帽弁膜症
石光 敏行 330(2)
13. 先天性心疾患―左・右シャント
石光 敏行 522(3)
14. 大動脈弁疾患
田村 勤 682(4)
15. 肥大型心筋症
飯田 啓治 1046(6)
16. 特発性拡張型心筋症
飯田 啓治 1410(8)
17. スポーツ心臓
松田 光生 1598(9)
18. 解離性大動脈瘤
飯田 要・他 2452(12)
19. 大動脈炎症候群
杉下 靖郎 2646(13)

肺癌診療

8. 肺癌に対する外科治療の現況
近藤 晴彦・他 168(1)
9. 肺癌の治療の現況(2)
―小細胞癌の治療
国頭 英夫・他 336(2)

検査データをどう読むか

小出 典男・他 176(1)
小泉 文明 346(2)
小泉 文明 528(3)
堤 寛 692(4)

堤 寛 1056(6)
岡嶋 研二・他 1606(9)
岡嶋 研二・他 2294(11)
布施川久恵・他 2652(13)

新薬情報

リボ PGE₁ 水島 裕 364(2)
ハロアート 水島 裕 540(3)

消化器疾患診療メモ／上野 文昭

180(1)
360(2)
532(3)
694(4)
1066(6)
1428(8)

神経疾患診療メモ

西平 竹夫 362(2)
豊永 一隆 534(3)
西平 竹夫 678(4)
豊永 一隆 1064(6)

循環器疾患診療メモ

山科 章・他 356(2)
山科 章・他 536(3)
高尾 信廣・他 1426(8)

呼吸器疾患診療メモ

松本 強・他 1424(6)
宮城征四郎 2298(11)
宮城征四郎 2468(12)

CPC／茅ヶ崎徳州会総合病院

糖尿病性腎症のために人工透析を
受けており、低血糖発作で来院し、
両側びまん性肺浸潤影を呈し死亡
された54歳男性 350(2)
気管支拡張症と臨床診断され、肺
炎を反復して死亡し、剖検により
リポイド肺炎と診断された71歳
男性 1416(8)

CPC／旭中央病院

不明熱、急性腎不全で入院、副腎
皮質ホルモンの投与により血液透
析から離脱したが、急性呼吸不全
を呈して死亡された71歳女性 698(4)